

2006年5月26日

各位

会社名 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション
代表者 代表取締役社長 大坪 愛雄
コード番号 6674
問合せ先 広報室長 宮部 恭嗣
(TEL 075-312-1214)

第一次中期経営計画（2006～2008年度）のお知らせ

わが国の景気は緩やかながら堅調に回復し、中国・アジア諸国経済は引続き高い成長を続けており、またハイブリッド自動車の増加などの要因も加わり、世界的な電池需要は、拡大するものとみられます。昨年度、当社は、「構造改革計画」に取り組み、経営合理化や効率化を推進した結果、計画目標を達成いたしました。当社は、この成果を踏まえ、グループの新たな成長に向かって、第一次中期経営計画（2006～2008年度）を策定し、その具体的な取り組みを開始いたしますので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 計画策定に至る背景

当社は、経営統合に先立ち、2004年度から2006年度を実行期間とする統合3カ年計画を立案いたしました。計画期間中、鉛を中心とする主要原材料の高騰など、外部環境の急激な変化に対応するため、2005年度は構造改革計画を策定し、経営効率化、事業構造や組織体制の改革に取り組み、業績の回復を実現しました。2006年度は構造改革計画の実績を踏まえ、また当初の統合3カ年計画諸課題への取り組みを更に推し進めるため、第一次中期経営計画（2006年～2008年度）を策定し、実施することといたしました。（この結果、統合3カ年計画は2年で終了します。）

2. 第一次中期経営計画の期間および目標

（1）計画期間

2006年4月から2009年3月の3カ年

（2）最終年度2008年度損益目標と経営指標

売上高 2,600億円 営業利益 130億円 経常利益 120億円

営業利益率 5.0% 経常利益率 4.6%

3. 重要事業課題

(1) 企業理念と経営ビジョン

中期経営計画の前提として、企業理念と経営ビジョンを次のように決めました。

[企業理念]

『革新と成長』

GS YUASAは、社員と企業の「革新と成長」を通じ、人と社会と地球環境に貢献します。

[経営ビジョン]

GS YUASAは、電池で培った先進のエネルギー技術で世界のお客様へ快適さと安心をお届けします。

(2) グループ全体の経営課題

中期計画期間を通じて、財務体質の強化、人材育成、総合的な生産性向上をはかり、強いグループ経営を実現します。特に次の経営課題を重視し、グループ全体で取り組みます。

- 1) CSRの推進とコンプライアンス体制の確立
- 2) 原価経費低減活動の継続
- 3) ERP導入拡大と新しい経営管理システムの構築
- 4) 環境に配慮した鉛リサイクルシステムの確立

(3) 事業戦略課題

中期経営計画目標を実現するために、次の事業戦略課題に取り組みます。

- 1) 国内自動車電池事業の利益改善
原材料価格高騰分の価格改定、国内シェア確保、合理化投資の回収
- 2) 中国・アジア事業の拡大
中国・アジア市場の販売強化、グローバル供給のための中国・アジア拠点整備
- 3) HEV・EV市場への本格的参入
拡大する新需要確保のための高性能電池の開発、量産技術開発の推進
- 4) 産業電池電源事業の収益基盤の強化
機種統合、生産販売拠点統合による合理化、効率化の推進
- 5) サービス事業の強化
サービス向上による競争優位の確保、サービスの事業化
- 6) 大型リチウムイオン電池事業の拡大
世界のデファクトスタンダード製品へ育成
- 7) 有望周辺事業の強化
成長市場と共存する周辺事業の強化

(4) 特別プロジェクトチームの組成

グループの経営および事業戦略課題のうち、各事業会社間にまたがる次の5つのテーマについては、特別のプロジェクトチームを置き、迅速に意思決定し実行いたします。特別プロジェクトは社長直轄の組織とし、プロジェクトをマネジメントするPMO (Project Management Office) を設置いたします。

プロジェクト1 本社と管理間接部門の縮小

プロジェクト2 国内自動車電池事業の利益改善

プロジェクト3 H E V ・ E V市場への本格的参入

プロジェクト4 中国・アジア事業の拡大

プロジェクト5 大型リチウムイオン電池事業の拡大

以上